



1 ポーリーヌ・V・オノの肖像

2 ダフニスとクロエ

3 古い罫

4 グレゾルの断崖

5 眠れるお針子

6 ダニエル・ブーンとキャラウェイの娘たちの救出

7 ダニエル・ブーンとキャラウェイの娘たちの掠奪

8 あの人はいったいどこにいるの？

「農婦（パンを焼く女）」の習作

「箕をふるう人」の習作

習作6（水瓶を運ぶ人）

「モンマルトルの土木工事人」の習作

習作8（農村の家族のデッサン）

「二人の農婦」の習作

仕事に出かける人

9 無原罪の聖母

## 見越し、引越す

宗教絵画や権力者の肖像画が主なモチーフであったそれまでの西欧美術界において、農民の労働や生活を描いたミレーは、近代美術史の中でも最も重要な作家の1人だろう。

山梨県立美術館の土地はかつて、農事試験場として利用されていた。ミレーの作品からインスピレーションを受け、美術館の将来における可能性を考える中で美術展示の場に、地域環境と作家や職人の仕事や生活の場が地続きとなるような空間を想像した。

小値賀島や富士吉田など様々な場所からの荷物の移動が行われた後の仮設、可変的なインスタレーション空間は、引越しに関するリサーチを重ねている山梨県出身の建築家である井上岳氏と共に空間設計をおこなった。

## A・B / 家内制手工業とOjika Tailor

古くから続く暮らしといくつかの手作業の仕事が組み合わさった生活様式は、現在でも各地方で僅かながら残っており、富士吉田では「半農半機」と形容されている。また、その土地ごとのいくつかの仕事を訪れると、とことなく人となりを感じる生活空間に入り込んだような感覚になった。それらは、小値賀島と富士吉田でのフィールドワークを通じて、双方に共通した感覚だった。

小値賀島で出会ったものの一つに、おそらく数十年前に作られたと思われるテーラードスーツがある。そのスーツのネームタグには、はっきりと「ojika」と刺繍されており、かつて島にもテーラーが存在したことを物語ってた。着用者の名前が縫い付けられたタグや、現在ではあまり見ることがなくなった手作業によって丁寧に仕立てられたディテール一つ一つが愛おしく感じられる。

## C / writtenafterwards12 Gassho「九装図」

九装図とは、人間が朽ちていく様を描いた『九相図』からインスピレーションを受け、野外に置かれた衣服が朽ちていく経過を九つの段階に分けて記録、実験したものだ。この衣服の素材は和紙を原料としており、通常の繊維よりもはやくに土に還り、土に生息している微生物の活性化を促すという堆肥的な役割も果たすという。残り続けていく衣服と、自然に還り他の生命へと循環していく衣服、双方の可能性を模索したいと思った。

#### C　writtenafterwards 12 Gassho「九装図」

### D / writtenafterwards12 Gassho -Hidden Archives-

『writtenafterwards12 Gassho -Hidden Archives-』は日本の歴史において多様な外来文化を迎え入れた土地であり、僕自身のルーツでもある長崎の歴史に向き合うと同時に、社会と衣服における生成と分解の「circulation（循環）」を表現に取り入れながら、新たな物語と人間像を描く試みだ。コロナ禍の影響で、何度も現地への渡航を断念せざるを得なかったが、長崎や小値賀諸島の方々とリモートで繋がりながらリサーチを行った。そこから着想を得て、写真家の野村佐紀子氏、濱田祐史氏、フォトジャーナリストの大石一男氏、音楽家の蓮沼執太氏とともにwrittenafterwards, written byの衣服を纏った青年たちの写真、映像作品を制作した。

#### D1・D2・D3　writtenafterwards 12 Gassho -Hidden Archives-

## E / writtenafterwards12 Isolated Memories

『writtenafterwards12 Isolated Memories』は、writtenafterwardsと写真家の田附勝氏、濱田祐史氏、東京藝術大学の学生らと共に、2019年以來、約3年ぶりに長崎県小値賀諸島への来島が実現し、小値賀島および隣島である無人の島、野崎島の現地リサーチを行った。それらの経験と私たちの日々の心緒からインスピレーションを受け、作品を制作。2023年1月には小値賀島の南部に位置する笛吹地区の古民家である旧小西邸にて展覧会を開催し、小値賀島での新たなプロジェクトのスタート地点とした。

#### E1・E2・E4　田附勝 / kuragari no.36 Kamaishi, Iwate, July, 2012 writtenafterwards 12 Isolated Memories「刻み込む土地」E3　濱田祐史 / writtenafterwards 12 Isolated Memories Collection Photos

## E / 刻み込む土地

小値賀諸島の一つ、野崎島はかつて潜伏キリシタンの集落があった。僕は写真家の田附勝氏と共にいつかこの地を訪れたいと思っていた。彼がこの島々に刻まれた人々の痕跡に真正面から向き合った時、何が浮かび上がってくるのだろうか。人々の記憶が薄れつつあるその島には、島民が長い時間をかけて築き上げた石垣や崩れ落ちた廃家、そして多くの鹿が生息している。その光景は偶然にも、ミレーが描いた作品『古い塀』におけるバルビゾン村とフォンテーヌブローの森を隔てる古びた塀と重なるような印象を与えた。

#### E1・E2・E4　田附勝 / kuragari no.36 Kamaishi, Iwate, July, 2012 writtenafterwards 12 Isolated Memories「刻み込む土地」

## 第1章

## 移動、創造

## ／山縣良和

## 作品解説

## F / writtenafterwards12 Self Reliance

『writtenafterwards12 Self Reliance』は、2023年9月に発表予定のwrittenafterwards, written byの新作コレクションである。本展示では、小値賀島や富士吉田でのフィールドワークを通じて出会った方々と共に「自立 (Self Reliance)」をテーマに制作を行っており、新作コレクションの制作過程 (work in progress) を展示している。本展覧会期中に徐々に作品が出来上がっていく様子を是非ご覧いただきたい。また、今回のヘッドピースは、掃除道具からインスピレーションを受け、ヘアメイクアップアーティストの計良宏文氏に、制作を依頼した。

#### F1・F2・F3・F4　writtenafterwards 12 Self Reliance

## G / 島の手触り

小値賀諸島で脈々と続く感性と創造性はどう受け継がれていくのだろうか。以前より何度かお仕事を共にさせていただいている、小島沙織と島田耕希が主宰するSHIIMA ART&DESIGN STUDIO.手技を通して絵と紙と素材との対話する新しいプロジェクトRivotorto Piecesとwrittenafterwardsは共同でテキスタイルデザインをスタートさせた。

また小島沙織の祖父である、小島恵次郎は日本を代表する染色家、芹沢銈介に師事し、民藝運動に参画した型染め作家である。幼い頃から西洋の音楽や美術文化への深い造詣を育み、いつしか幾度となく渡欧することになった。型絵染という日本の伝統的な染色技法と西欧美術の感性が溶け合い違和感なく融合した作品は、五島列島や小値賀諸島の潜伏キリシタンによって作られた西欧文化と土着の感性が入り混じった素朴な教会のある風景とも重なる。

writtenafetrwardsは故小島恵次郎の作品から学び、孫の小島沙織と島田耕希が主宰するRivotorto Piecesと小値賀諸島を結び、伝統技術と島の文化を継承するプロジェクトを行う予定である。

#### G　Rivotorto Pieces / 作品一式　小島恵次郎 / 作品一式

## H / 歴史をほぐし織る

富士吉田の織機を美術館に運び込み、大正13年に創業した舟久保織物と共に「ほぐし織」の生地制作を行う。この「ほぐし織」とは水彩画のような風合いを持つ織物であり、型作り職人、染め職人、織り職人の共同作業によって作られる日本有数の織物である。本展では故小島恵次郎の作品『手のV』がRivotorto Piecesと舟久保織物の協力によって再び蘇らせることを試みた。織物は展示期間中に織り上がる予定である。

#### H　writtenafterwards / Rivotorto Pieces / 小島恵次郎/舟久保織物

## J / coconogaccoと富士吉田

2008年より主宰しているファッションの表現と学びの場であるcoconogaccoは現在、数多くの受講生がデザイナーやアーティストとして活躍している。2021年より、山梨県富士吉田市で四月の桜が満開になる季節に受講生の作品発表の場となる展覧会を開催している。富士吉田市は古くから織物職人の街として栄え、今もなお高度な技術を持った個性豊かな職人たちが集まる地域として、世界的にも重要な産地の一つとして位置づけられている。

本インスタレーションに参加を依頼した現役受講生の可見真嗣氏、川尻優氏、金子圭太氏、中村英氏、村尾拓美氏、元受講生の田中優大氏と田中杏奈氏のユニットBIOTOPEは富士吉田の展覧会を経験したメンバーだ。彼らは個々に独自の表現の種を発見しており、産地の職人たちとのコラボレーションも始めており、ファッション業界に限らず、様々な場所で新しい花を咲かせるだろう。

#### J　coconogacco works / 金子圭太、可見将嗣、中村英&村尾拓美、川尻優、BIOTOPE（田中優大&田中杏奈）

## J / Founded by

writtenafterwardsとcoconogaccoの活動をより複合的に発展させるために本展覧会期間中に様々な協力者と共に「本屋」という新たな会社を立ち上げる予定だ。会社名には「本」や「本作り」といった意味に加えて、立ち返る場所としての「家」や「メゾン」という意味を込めている。また、本展示に参加しているcoconogaccoの受講生である中村英氏と、村尾拓美氏もまた、共同で会社を立ち上げる予定だ。彼らはリサーチやフィールドワークを通して、先進的な実験と表現を行う会社の構想を、本展覧会中に練る計画だ。

#### J　coconogacco works / 中村英&村尾拓美